

◇地元産業界との連携事業

『地域防災力の向上を目指した地域知共有のための「安全安心マップ作り」活動』

担当者：谷端郷（人文学部講師）

共同研究者：浅妻裕（経済学部教授），水野谷武志（経済学部教授），大貝健二（経済学部教授），鈴木雄大（経済学部准教授），高橋伸幸（工学部教授），手塚薫（人文学部教授）

※北海道放送株式会社 HBC との包括連携協定に基づく協働事業の一つとして実施。

1. 連携先

北海道放送株式会社（HBC）

2. 連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標

地域において、地域で生活する人々が育んできた「地域知」が整理・共有されていないという課題がある。そこで、この「地域知」を地域内で共有し、防災や減災の取り組みに役立てるとともに、次世代へとつないでいくためのきっかけづくりを目的に、各地で「安全安心マップ作り」活動を企画・実施する。

3. 事業の内容

マップ（地図）は、掘り起こした「地域知」を整理し、視覚的な要素によって分かりやすく効果的に伝える手段として有効である。そこで、掘り起こした「地域知」を防災や減災の取り組みに活かし、次世代へとつないでいくための手立てとして「安全安心マップ作り」を実施する。これを、防災講座の実施等により自治体やまちづくり団体との連携実績を有する北海道放送株式会社（HBC）と、防災や地域調査の知識・経験を有する教員並びにまちづくりや地域連携に高い興味関心を持つ学生との協業によって進める。

当事業の実施地域はニセコ町である。

令和4年度：防災マップの活用と新たな防災マップ作成準備

- ・作成した防災マップを活用した防災イベントとして、「ニセコ町防災訓練」と連携したマイタイムライン作成ワークショップの開催。
- ・中央地区以外での防災マップづくり（具体的には福井地区）の開催模索。

令和5年度：ニセコ町内の小学生と安全安心マップ作り体験の実施

- ・「防災散歩」と題して、ニセコ町内の小学生と一緒に「防災」と「地域知」の観点から、町内を散策。町内を散策して得られた知識は、安全安心マップとしてまとめた。